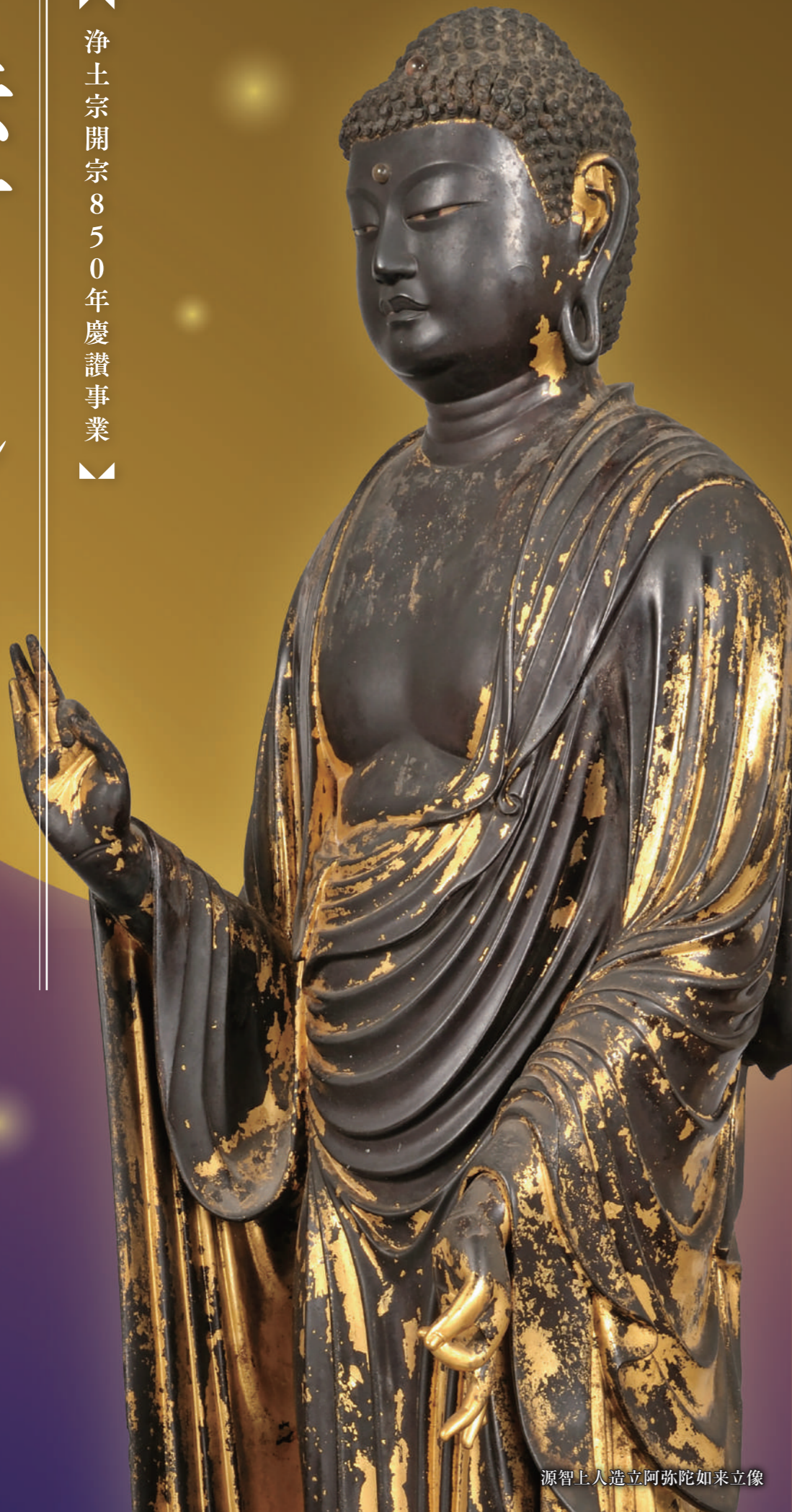


【浄土宗開宗850年慶讃事業】

# 法灯リレーマニユアル

各教区から檀信徒へ



源智上人造立阿弥陀如来立像



浄土宗



浄土宗  
開宗850年

発行：浄土宗  
制作：第27期全国浄土宗青年会  
デザイン：TRD Design  
お問い合わせ：浄土宗社会部 TEL.03-3436-3351

# 法灯リレー



浄土宗開宗八百五十年  
法灯リレー  
南無阿彌陀仏

国内外の各教区から各組・寺院・檀信徒へ

青龍寺

## 法灯リレーとは？

法然上人が修学された青龍寺から知恩院へ、そして全国各地、世界各地の浄土宗檀信徒へ法灯をリレーする事業で、浄土宗が主催する開宗850年慶讃事業の一つです。

## 何をリレーするのか？

法然上人が開宗の文に出遇われた青龍寺より法灯（分灯された灯と令和版結縁交名）を戴き、念佛行脚にて知恩院までリレーし、浄土門主猥下より各教区長、海外開教区・開教地代表者へ分灯いたします。その分灯された灯を各教区から各組・各寺院へリレーしていただきます。そして浄土宗開宗より脈々と引き継がれてきたお念佛のみ教えを令和版結縁交名に託し、それを法灯と捉え、檀信徒にリレー（おとりつぎ）いただきます。

※実際に各教区・組・寺院・檀信徒までローソクの灯をリレーしていくのは困難なため、法灯をお念佛のみ教えの証である令和版結縁交名に託し、檀信徒に令和版結縁交名へご署名いただき、源智上人造立阿彌陀如来立像の御前に奉納することで法灯リレーの成満となります。

浄土宗総本山 知恩院



## 各教区（教区長）へのお願い

### 1 知恩院 から 教区 へ

令和5年5月9日（火）15時、知恩院御影堂にて法灯リレー開白法要を行います。青龍寺より戴いた法灯を各教区、海外開教区・開教地へ分灯いたしますので、教区長は必ずご出席ください。なお分灯された吊灯籠を持ち帰ることは困難なため、法要後、吊灯籠の灯は一旦消し、み教えの証としての令和版結縁交名・リーフレット・記念品とともに各教区へ配送いたします。

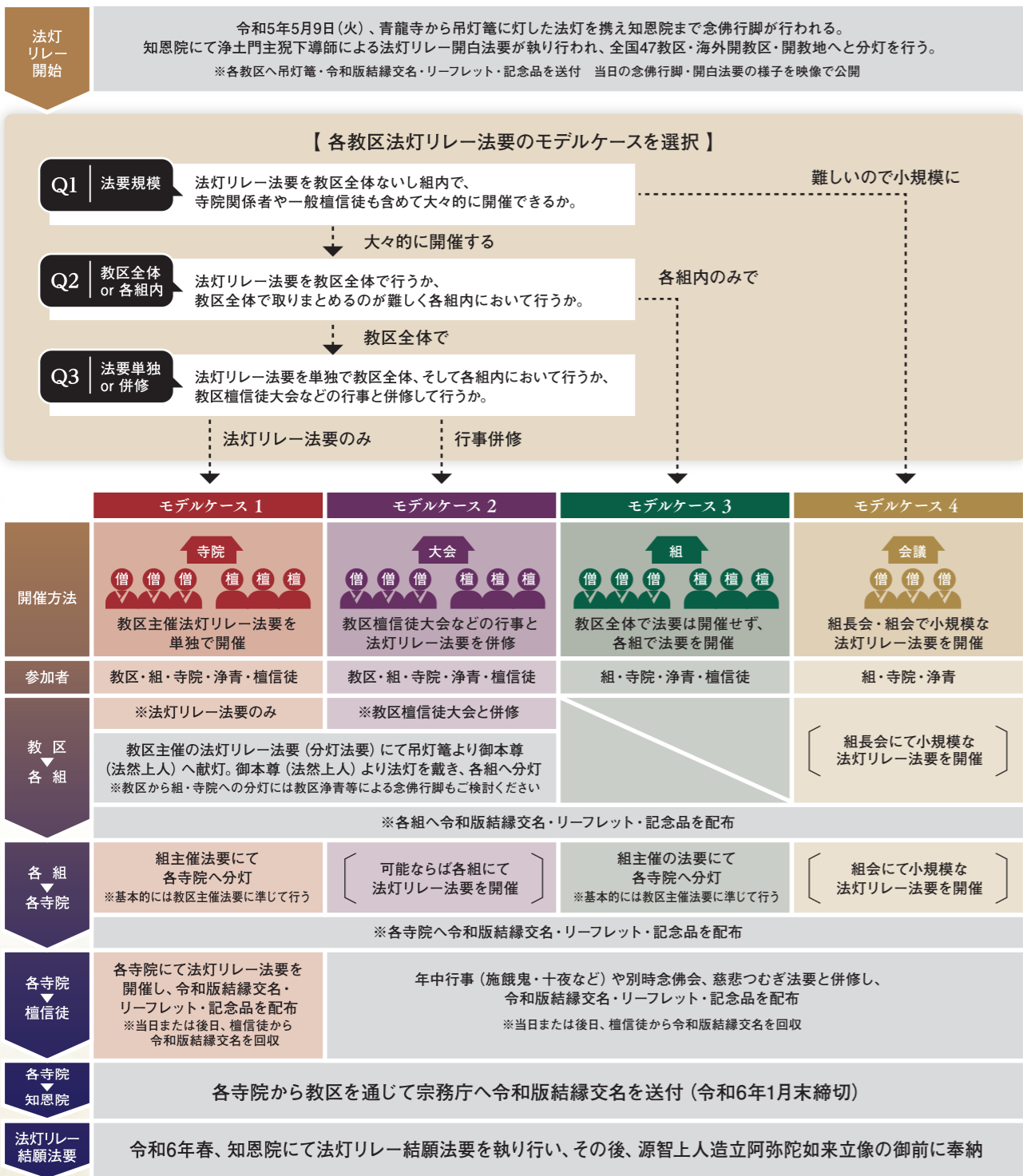
### 2 教区 から 組・寺院 へ

教区から組・寺院へのリレーについては、「各教区法灯リレーの流れ」【モデルケース】（法灯リレー法要のすすめ）を参照いただき、それぞれの教区に適した方法にてリレーしてください。ただし各教区・各寺院で作法等が異なる場合は、適宜変更してご利用ください。

### 3 寺院 から 檀信徒 へ

各寺院では開宗850年慶讃法灯リレー法要や各種定期法要等に、檀信徒へ法灯（令和版結縁交名）をリレーしていただきます。ご署名いただいた令和版結縁交名は教区を通じて宗務庁へご返送ください。

## 各教区法灯リレーの流れ



## 法灯リレー モデルケース

### モデルケース 1

#### 教区主催で行う

- ① 教区主催法灯リレー法要  
教区長が持ち帰った吊灯籠より御本尊・法然上人へ献灯、その後各組長へ分灯します。
- ② 組主催法灯リレー法要  
組長が持ち帰った吊灯籠より御本尊（法然上人）へ献灯、その後各寺院へ分灯します。
- ③ 寺院主催法灯リレー法要  
各寺院にて法灯リレー法要を開催し、令和版結縁交名・リーフレット・記念品を配布、交名を回収します。



※吊灯籠は無償提供いたします

#### ここでひと工夫

分灯された法灯を各組・各寺院へリレーする際には、浄青会員等による念佛行脚を行うと非常に効果的です。各教区浄青へご相談ください。

### モデルケース 3

#### 教区全体法要は行わず、組主催で行う

- ① 教区主催法灯リレー法要  
教区全体で集まるのが困難な大規模教区や移動距離が長い教区は、教区主催法要を省略することも可能です。
- ② 組主催法灯リレー法要  
教区全体の法要を省略する代わりに、組主催法要にて、各寺院へ分灯します。
- ③ 寺院主催法要  
各種定期法要などの機会に、令和版結縁交名・リーフレット・記念品を配布、交名を回収します。

※令和版結縁交名等は教区より寺院へ直送しても結構です。

### モデルケース 4

#### 組長会・組会で小規模な 法灯リレー法要のみ行う

- ① 組長会の際に法灯リレー法要  
組長会で組長が集まる際に、各組へ法灯を分灯します。
- ② 組会の際に法灯リレー法要  
組会で各寺院が集まる際に、各寺院へ法灯を分灯します。
- ③ 寺院主催法要  
各種定期法要などの機会に、令和版結縁交名・リーフレット・記念品を配布、交名を回収します。

※組長会組会での分灯の際は、檀信徒の参加なしでも構いません。

※プロジェクト等の準備が困難な場合は、念佛行脚開白法要動画の上映を省略することも可能です。

## 法灯リレー法要 のすすめ

【スケジュール例】

13時～13時55分

法話

13時55分～14時

青龍寺／知恩院  
法灯リレー開白法要動画

14時～15時

法灯リレー法要  
(献灯・分灯)

15時～15時15分

令和版結縁交名署名

15時15分～

記念品贈呈／解散

### 青龍寺／知恩院 法灯リレー 開白法要動画

(令和5年5月下旬配信予定)

青龍寺より戴いた法灯を知恩院まで念佛行脚にてリレーする様子、そして法灯リレー開白法要にて浄土門主祝下より宗務総長、各教区長へと法灯がリレーされ、各教区へ分灯されてきた様子を短い動画にまとめます。

是非教区法灯リレー法要や寺院主催法要での献灯前に檀信徒へご披露いただき、目の前にある法灯が法然上人の修学された青龍寺より運ばれてきたことを体感してください。

#### ここでひと工夫

動画の直後に堂内へ法灯がリレー・献灯されると、青龍寺から運ばれてきた法灯をより一層実感していただけます。

### 法灯リレー法要

#### 《衣帯》

導師  
色衣相当服・七条・切袴・水冠／誌公帽子・払子・莊嚴数珠・(領帽)

式衆  
色衣・大師衣・切袴・中啓・莊嚴数珠・(領帽)

参列寺院  
黒衣・如法衣・朱扇・日課数珠・(領帽)

#### 《準備品》

- 朱ロースク(献灯用、白ロースク可)
- 吊灯籠(浄土宗より提供)
- カップロースク(吊灯籠用 浄土宗より提供)
- プロジェクター・スクリーン(大型テレビ)・PC等
- 青龍寺／知恩院念佛行脚法灯リレー開白法要動画(ダウンロードある場合はYouTube)
- 令和版結縁交名・リーフレット・記念品



《次第・表白》6～7ページを参照

### 令和版結縁交名署名

檀信徒までロースクの灯をリレーしていくのは困難なため、法灯をお念佛のみ教えの証である令和版結縁交名に託し、檀信徒に令和版結縁交名へご署名いただきます。

ご署名いただいた結縁交名は令和6年1月末までに教区を通して宗務庁へご返送ください。

源智上人造立阿彌陀如来立像の御前に奉納いたします。

※令和版結縁交名・リーフレット・記念品のお申込は所属の教区教務所まで。令和4年12月末までです。



#### ここでひと工夫

結縁交名は法要に参加した檀信徒だけでなく、檀信徒のご家族や有縁の方にご自宅でご署名いただくと、ご縁が広まります。

### 記念品

ご署名いただいた檀信徒へ記念品として切り絵御朱印を用意しております。各寺院にて、朱印を押しつけてください。



見本

# 次第



https://850.jodo.or.jp/news/  
法灯リレー実施マニュアル/

## 入堂

### 法灯の献灯

- 一、香偈
- 一、三宝礼
- 一、奉請
- 一、懺悔偈
- 一、十念
- 一、表白
- 一、開経偈
- 一、誦経
- 一、御回願  
宗祖(元祖)法然上人浄土宗  
開宗八百五十年上酬慈恩
- 一、自信偈
- 一、十念

- 一、御法語『立教開宗』
- 一、開宗の文
- 一、撰益文
- 一、念仏一会
- 一、御回願
- 一、総回向偈
- 一、十念
- 一、総願偈
- 一、三唱礼
- 一、送仏偈
- 一、十念
- 法灯の分灯
- 退堂

### ここでひと工夫

・法灯の献灯に際し、浄青会  
員等が三門から念佛行脚  
にて入堂してくると、知恩  
院から分灯された法灯を  
演出することができます。

・法要に詠唱を組み入れる  
ことができます。

## 浄土宗開宗八百五十年慶讃法灯リレー法要表白(例)

恭しく惟みるに、宗祖(元祖)圓光和順法爾大師法然上人は、勢至の垂  
迹として美作国漆間家に降誕し給い、悟りを求めよとの父君の遺訓忘  
れがたく、御年十五にして叡山に登り、出家受戒して修学に励み給えり。  
その学識は顕密に亘り、智慧第一の誉れは三塔に高く、末は天台の棟  
梁にと望まれしも、名利を厭い西塔黒谷に隱遁して、ひたすら凡夫往  
生の道を求め給う。

更には南都に遊学して碩学の教えを請うも、求むる道を得ることは叶  
わず、再び黒谷に帰りて、嘆き嘆き経蔵に入り、悲しみ悲しみ聖教に  
向かい給えり。

かくして一切経を披閱すること五遍、とりわけ善導大師の御書を繙く  
こと三遍、遂に承安五年春、観経疏一心専念の文に由り、専修念佛に  
帰して浄土の宗を明かし、凡入報土の道を開き給えり。

爾来、称名念佛の聲は四方に満ち、大衆齊しく光明撰取の法益を受く  
ることを得たり。

今、開宗八百五十年の佳辰を迎ゆるに当たり、宗祖(元祖)法然上人  
開宗の御心に思いを馳せ、黒谷青龍寺より法灯を戴き、祖山知恩院の  
御影堂に捧ぐ。仍つて弟子○○等、祖恩に酬いんが為、心新たにこの  
法灯を受け継ぎ、○○教区(○○寺)の大師前に献じて、開宗報恩の法  
要を修し、(併せて檀信徒に結縁交名を勧め、)念佛響流に資せんこと  
を希い奉る。

仰ぎ願わくは大師の慈光益々輝き、遺法の徳風弥々徧く、念佛の一行  
十方に弘まり、弥陀の撰化末代に及ばんことを。

維時 令和 年 月 日 遺弟 ○○ 敬つて白す

※この表白は宗令「開宗八百五十年慶讃法要差定」に定められた表白を基にした文例です。  
網掛け部分は趣旨に合わせて適宜変更の上ご使用ください。  
※このまま読まれる場合は( )の箇所を当該教区・寺院等で取捨選択してご使用ください。

## 元祖法然上人御法語(第二) 立教開宗

おおよそ佛教おおしといえども、所詮、戒定慧の三学を  
ばすぎず。所謂小乗の戒定慧、大乘の戒定慧、顕教の戒  
定慧、密教の戒定慧也。しかるに、わがこの身は戒行に  
おいて一戒をもたまたず、禪定において一つもこれを  
えず。人師釈して、尸羅清浄ならざれば三昧現前せずと  
いへり。又、凡夫の心は物にしたがいてうつりやすし。  
たとえは猿猴の、枝につたうがごとし。まことに散乱し  
て動じやすく、一心しずまりがたし。無漏の正智、なに  
によりてかおこらんや。若し無漏の智剣なくば、いかで  
か悪業煩惱のきずなをたたんや。悪業煩惱のきずなをた  
たずば、なんぞ生死繫縛の身を解脱することをえんや。  
かなしきかな、かなしきかな。いかがせん、いかがせん。  
ここに我等ごときは、すでに戒定慧の三学の器にあらず。  
この三学のほかに、我が心に相應する法門ありや、我が  
身に堪へたる修行やあると、よらずの智者にもとめ、諸  
の学者にとぶらいにしに、おしうるに人もなく、しめすに  
輩もなし。然る間、なげきなげき経蔵にいり、かなしみ  
かなしみ聖教にむかいて、手ずからみずからひらき見し  
に、善導和尚の観経の疏の、一心に専ら弥陀の名号を念じ、  
行住坐臥に時節の久近を問わず、念々に捨てざるもの、  
これを正定の業と名づく、彼の佛の願に順ずるが故に  
という文を見得てのち、我等がごとくの無智の身は、偏  
にこの文をおおぎ、もはらこのことわりをたのみて、念々  
不捨の称名を修して、決定往生の業因に備うべし。

## 開宗の文

(漢文)  
一心専念弥陀名号  
行住坐臥  
不問時節久近  
念々不捨者  
是名正定之業  
順彼佛願故

(和文)  
一心に専ら弥陀の名号を念じて、行住坐  
臥に時節の久近を問わず、念々に捨てざ  
る者、これを正定の業と名づく、彼の佛  
の願に順ずるが故に。

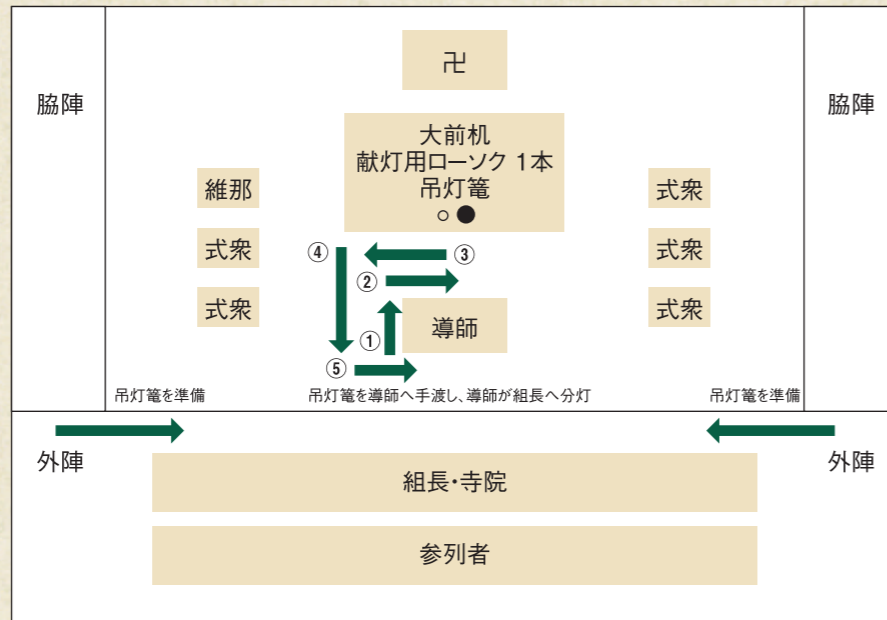


【分灯方法】 ※御本尊(法然上人)より法灯を戴き、各組へ分灯

例1 殿司・侍者が動く場合

- ◆ 法要終わり次第、殿司・侍者が吊灯笼を導師へ手渡す。
- ◆ その際、同時進行で、他の殿司・侍者は組長・寺院へ吊灯笼を用意する。
- ◆ 準備出来次第、導師から組長代表へ分灯する。代表より左右の組長へリレーしていく。
- ◆ 法灯のリレーが終わり次第、各組長は着座し、導師式衆退堂。

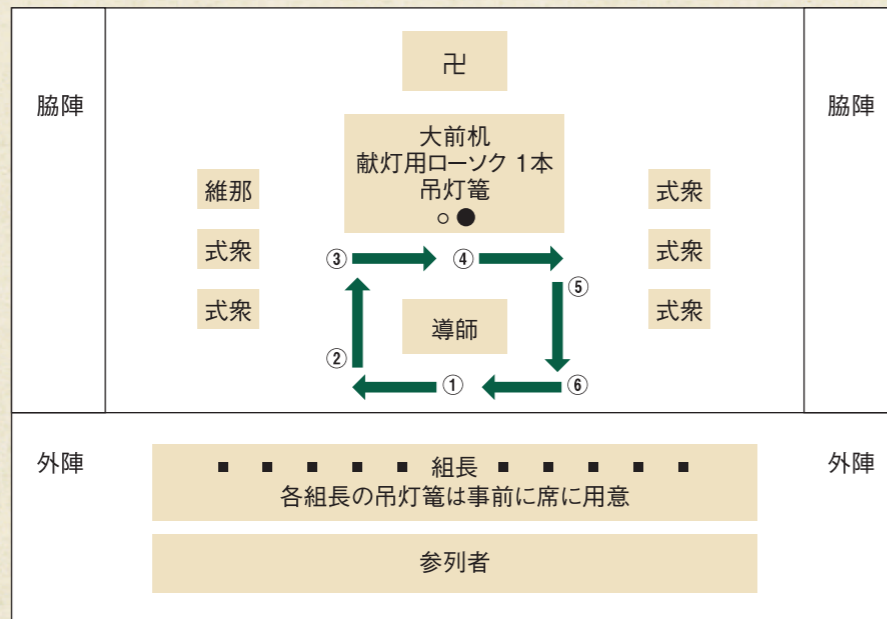
→ 殿司・侍者の動線  
(堂内の造りに合わせて、裏堂・外陣・脇陣から)



例2 導師が動く場合

- ◆ 法要終わり次第、導師が大前机中央の吊灯笼前まで行き、導師座へ戻り各組長へ分灯する。
- ◆ 各組長の吊灯笼は事前に席に用意しておき、各自にて準備をしよう。
- ◆ 分灯終わり次第、吊灯笼は導師座に置く。各組長は着座し、導師式衆退堂。

→ 導師の動線



ここでひと工夫

教区の灯を組に繋ぐ場合や、組長に渡った分灯を組内寺院へ繋ぐ場合等、浄青会員による念佛行脚にて入堂すると効果的です。

【注意!】すべての灯は、一般の方がいない時に消灯しましょう。

※組主催法要・各寺院法要については、基本的に教区主催法要に準じてご検討ください。  
※教区長から組長へ法灯(灯・令和版結縁交名・リーフレット・記念品)を渡すことで、教区から組へと法灯リレーされたこととします。

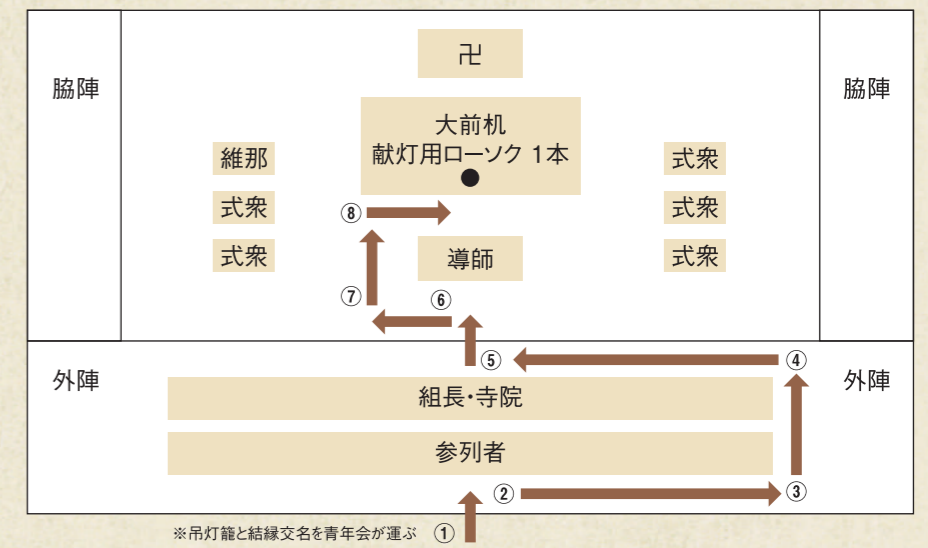


【献灯方法】 ※吊灯笼より御本尊(法然上人)へ献灯

例1 殿司・侍者が献灯する場合

- ◆ 法要前に献灯用のローソクを1本、大前机中央に用意しておく。
- ◆ 導師式衆入堂後、導師は外陣向きに立つ。
- ◆ 外陣より浄青会員等が吊灯笼・結縁交名を携え入堂、導師へリレー。
- ◆ 導師より殿司・侍者へ吊灯笼・結縁交名を渡し、殿司・侍者より献灯・奉納する。
- ◆ 献灯後、吊灯笼を大前机に安置。

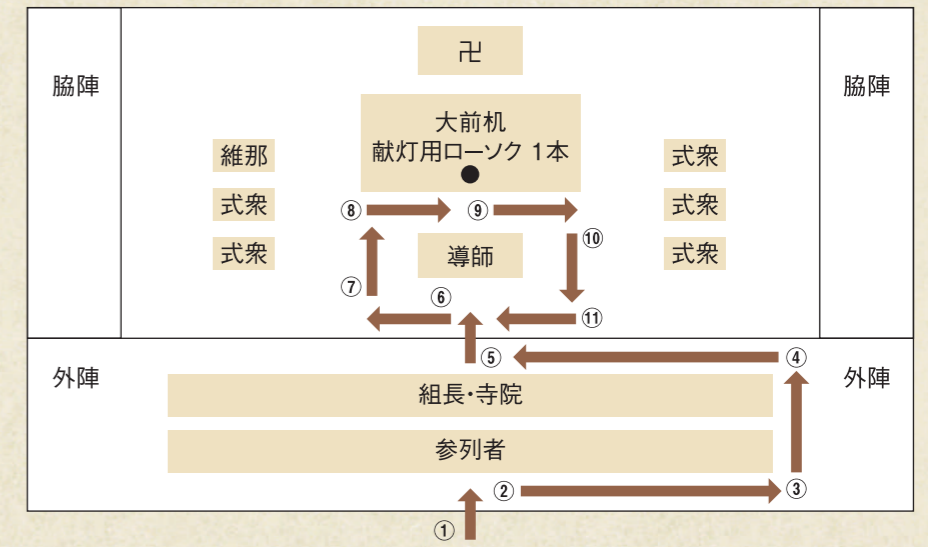
→ ①～⑤ 浄青会員等の動線  
⑥～⑧ 殿司・侍者の動線  
(堂内の造りに合わせて、裏堂・外陣・脇陣から)



例2-1 導師が入堂するときに献灯する場合

- ◆ 法要前に献灯用のローソクを1本、大前机中央に用意しておく。
- ◆ 式衆入堂後、外陣から侍者・導師が入堂し、大前机中央ローソク前まで行き、吊灯笼より献灯する。

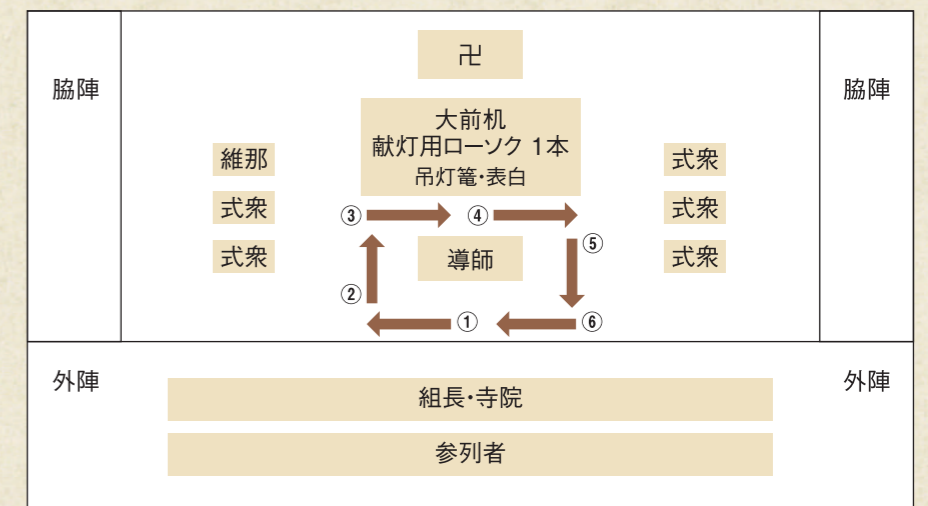
◆ 吊灯笼を大前机に安置してから導師座へ向かう。  
導師着座後に法要開始。  
→ 導師の動線  
(堂内の造りに合わせて、裏堂・外陣・脇陣から)



例2-2 導師が表白後に献灯する場合

- ◆ 法要前に献灯用のローソクを1本、吊灯笼・表白を大前机中央に用意しておく。
- ◆ 表白を大前机で読む為、移動し、読み終わったら献灯して導師座へ戻る。  
(侍者付きの場合も同じ動きをする)

→ 導師の動線



事業概要に対する質問

Q 法灯リレーの流れは？

A 法然上人が開宗に至るまで行学を修められた青龍寺より法灯（分灯された灯と結縁交名）を戴き、全国浄土宗青年会が知恩院まで念佛行脚にて運び、知恩院御影堂の法然上人の御前に献灯し、開白法要を勤めます。その後、浄土門主親下より御前の法灯を宗務総長、そして各教区長の吊灯籠へ分灯します。これをもって各教区へ法灯がリレーされたことと解釈いたします。安全面の都合上、吊灯籠の灯は一旦消しますが、吊灯籠は教区から組、寺院へのリレーを行う際に再び火を灯してご活用いただきます。また吊灯籠と結縁交名は教区へと送付させていただきます。教区からのリレー方法につきましては、モデルケースを参考にご検討ください。

Q 令和版結縁交名とは？

A 宗祖法然上人800年大遠忌事業で本宗に請来した源智上人造立阿弥陀如来立像は、法然上人のすべての人を生死の煩いのない人に生まれ変わらせたいという大慈悲心に報いるために建立され、像内には結縁者4万6千人の姓名（結縁交名）が納められていました。令和6年に開宗850年を迎える今回も同様に、法然上人の恩徳に「真報謝」する想いで、ご署名とお念佛を阿弥陀様の御前に奉納することでご体現したいと思えます。

Q 結縁交名の読み方は？

A 「けちえんきょうみやう」

Q 4万6千人念仏署名運動と法灯リレーでの結縁交名の違いは？

A 署名していただく対象が異なり、前者は一般大衆、後者は本宗檀信徒を想定しております。

Q 法灯リレーに結縁交名を組み込んでいる意味は？

A 全国・世界各地の檀信徒まで法然上人のみ教え（法灯）が弘まった証として、目に見える形の結縁交名を取り入れています。

Q 法灯とは火ではないのか？

A 火をリレーしていくことは、安全面から非常に困難ですので、法灯は法然上人のみ教えであるお念佛と捉えることとしております。

Q 檀信徒の自宅まで火を届けることはできないのか？

A 安全上の面から、ご遠慮いただきたいと思えます。

Q 結縁交名の回収方法と期限は？

A 回収方法につきましては、ご寺院様ごとに寺院名と署名数を明記のうえ、教区を通して宗務庁へご送付ください。期限は、令和6年1月末です。

Q 吊灯籠の申込上限は？

A 一教区あたりに最大で組数分を無償で提供いたします。宗務庁より各教区教務所に聞き取り調査を行いますので、必要数をお申し込みください。

Q 吊灯籠への点灯方法は？

A 吊灯籠に併せてカップローソクも無償提供いたしますので、カップローソクを取り出して点灯後、再度吊灯籠へ収納してください。

寺院での法要・署名に対する質問

Q どのタイミングで檀信徒に署名いただき、記念品を配布すればよいのか？

A 教区内の計画により法灯が各ご寺院様に届きましたら、どのタイミングでも問題ございません。法灯リレー法要を開筵していただき、その中で行っていただくのが最も好ましいかと思いますが、ご寺院様それぞれのご事情もございますので、開宗850年慶讃法要や各種定期法要等に併せて行ってください。

Q 寺院は何をすればよいのか？

A 然るべき場（開宗850年慶讃法要や定期法要等）にて、檀信徒へ当事業の主旨のご説明と結縁交名のご署名をご依頼したいと思えます。ご署名いただいた結縁交名は令和6年1月末までに教区を通して宗務庁へご返送ください。

結縁交名・リーフレット・記念品・吊灯籠に対する質問

Q 結縁交名・リーフレット・記念品の申込数量に上限は？

A 上限は設けておりません。寺院の檀信徒数を考慮して必要部数をお申し込みください。

Q 署名された結縁交名はいつどこに奉納されますか？

A 詳細については未定ですが、令和6年春に奉修予定の法灯リレー結縁法要にて本尊前に奉呈し、その後、源智上人造立阿弥陀如来立像の御前に奉納いたします。

Q 寺院で法灯リレー法要を行う際の差定は？

A 本誌6〜7ページの「浄土宗開宗八百五十年慶讃法灯リレー法要次第」を参照ください。

Q 結縁交名の書き方は？

A 黒色の毛筆やペン、鉛筆など使いやすいものでお名前を書いていただき、名号をなぞってください。

Q 結縁交名の名号に漢字とひらがながあるが、その意味合いは？

A 署名は1家族1枚ではなく、家庭内さらには孫世代にもお願ひしたいと思えますので、お子さまが漢字を書くことが難しい場合にはひらがなでお書きください。

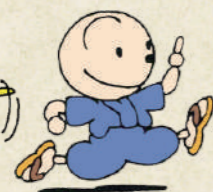
Q 諸事情により檀信徒が複数回署名することに問題はないか？

A 原則としておひとりあたり1回でお願いしたいと思いますが、やむを得ない場合はご寺院様の判断にお任せいたします。

Q 記念品等は寺院にいつ届くか？

A 令和5年5月頃に宗務庁から教区へ発送し、教区よりご寺院様へ送付いたします。

Q 結縁交名紙・リーフレット・記念品は有料か？



A すべて無料となります。

Q 切り絵御朱印はそのまま配ればよいのか？

A 「浄土宗開宗八百五十年」「順彼佛願故」という文字だけ記してありますので、左下に各ご寺院名をお書きいただき、各ご寺院様でご使用されている朱印を押印ください。よろしくお願いいたします。

Q 記念品とは？

A 切り絵御朱印を予定しております。ご寺院様には結縁交名・リーフレットと併せてお送りいたします。

Q 結縁交名を胎内に納めることはできますか？

A 胎内に納めることは叶いません。ご了承ください。

